

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成27年度第2回西脇市ふるさと経営推進市民会議
開催日時	平成28年3月1日（火） 午後7時00分～午後9時00分
開催場所	西脇市茜が丘複合施設「Miraie（みらいえ）」会議室1
出席委員の氏名又は人数	9名
欠席委員の氏名又は人数	1名
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー1名、事務局9名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1 自治基本条例の推進に向けた取組について 2 平成28年度主要事業について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会）</p> <p>（あいさつ） お忙しい中御出席いただき感謝申し上げます。本日も忌憚のない御意見をお願いしたい。</p> <p>（自治基本条例に関する事項） 自治基本条例の推進に向けた取組について 会議資料1に基づき、事務局から説明</p> <p>資料を見るまで、これだけ多くの会議が開催されていることを知らなかった。市民の方々にも、これらの市の取組</p>
事務局	
西脇市長	
委員	

	をもっと知ってもらいたいと思う。
委員	市の会議で出された意見は、どのように市政に反映されているのだろうか。 また、まちづくり推進審議会と今回のふるさと経営推進市民会議はどのように関連しているのか。
事務局	審議会にはそれぞれの目的があり、市が諮問し、審議会から答申を受ける。そのため、審議会の答申は必ず市政に反映されることとなっている。 まちづくり推進審議会の目的は、参画と協働の推進である。これに対して、ふるさと経営推進市民会議の目的は、自治基本条例の進捗状況について報告し、御意見をいただくことである。
委員	環境審議会が今年度開催されていないのはなぜか。
事務局	今年度は諮問事項がなかったため、開催していないが、審議会とは別に「市民エコ会議」を開催しており、環境に関する自主的な取組を行っている。
委員	公募の委員が少なく、どの会議も似たような委員構成になっているのではないか。 また、地域自治協議会において、区長会はどのような位置づけになると考えておられるのか。
事務局	自治基本条例では、どの会議も原則として委員を公募することとなっているが、なかなか応募がないのが実情である。今後、公募の委員を増やすよう努力していきたい。 また、地域自治協議会の設立に当たっては、区長会は中核となる存在であり、区長会の合意なしには実現できないと考えている。
事務局	(総合計画に関する事項) 平成 28 年度主要事業について 会議資料 2 に基づき、事務局から説明
委員	コミュニティバスの運行においては、乗客の利便性を第一に考えてほしい。バスのルートや停留所の場所など、

	<p>もっと市民に利用していただきやすいように検討すべきである。</p> <p>また、今後少子化が進む中で、認定こども園の経営が成り立っていくのかが心配である。</p>
事務局	<p>コミュニティバスのルートや停留所については、各地区からの意見を踏まえ、今後も引き続き検討していく。</p> <p>認定こども園については、事務処理の効率化などによりコストを削減し、健全な経営に努めるようお願いしている。また、地域の高齢者の介護施設として併用するなど、様々な利用方法を今後検討していく。</p>
委員	<p>「高齢者見守りサポート事業」について、見守りの対象になる方への配達は、委託先の宅配業者からの配達のみで統一されるのだろうか。</p>
事務局	<p>宅配業者からの配達に統一されるわけではない。見守りの対象となる方には、町からの配布物とは別に、市のお知らせなどを宅配業者が対面で配達する。その際に安否確認を行い、異変があれば市へ報告するものである。</p>
委員	<p>「移住支援事業」について、移住フェアへの出展を予定されているとのことであるが、西脇市をどのようにPRしていくのか。また、都市部で出展している様子を市民が見ることはできるのだろうか。</p>
事務局	<p>市の様々な施策の魅力や、住みやすい環境をPRしていく。また、出展の様子については、市の広報やフェイスブックを通じて情報発信を行うので、ぜひ御覧いただきたい。</p> <p>また、移住施策に関連して、定住促進のためのホームページを作成中である。4月に公開予定なので、こちらもぜひ御覧いただきたい。</p>
委員	<p>まちづくり市民アンケートの結果は、来年度の事業にどの程度反映されているのだろうか。</p> <p>また、アンケートの自由意見では、「カナー西脇がなくなり、市内で買い物できるところが少ない」との声が多い。市としてどう考えているのか。</p>

事務局	<p>最後に、丹波市や篠山市は、居住地としてのブランドイメージを確立しているように感じる。これらの例のように、西脇市も独自の魅力を発信できないだろうか。</p> <p>まちづくり市民アンケートについては、毎年実施することで本市の強みと弱みを把握し、事業内容に反映させている。</p> <p>また、カナート西脇の跡地については、市庁舎の建替えとも関連する問題である。このことについては、今後公共施設適正化検討委員会で議論していく。</p> <p>最後に、西脇市が掲げる「ファッション都市構想」は、地方創生における先駆的な事例として内閣府で取り上げられた。今年度も、デザイナーなどを目指す若者が都市部から西脇市に転入してきている。若い女性デザイナーが市内で起業し、成功した例もある。そのような志ある若者を後押ししていきたい。そのような取組が、西脇市ならではの魅力につながると考えている。</p>
委員	<p>「子育て応援ライフプラン事業」や「こどもプラザ事業」によって、子どもが小さい時から誰かに相談ができる環境が整うことはとても嬉しい。現状では、学齢期を過ぎると、支援が必要な人の把握が難しくなっている。そのような現状を変えるため、現在も市の各担当課と一緒に解決策を検討している。また、今後整備される認定こども園とも連携して検討していきたいと思う。</p>
委員	<p>「こどもプラザ事業」について、現在もみらいえでスタッフをさせていただいているが、家庭の事情で塾に通いにくい子がもっと気軽に訪れ、勉強ができる環境を整えることが必要であると感じる。</p>
委員	<p>「ファッション都市構想推進事業」や「西脇イノベーター創造プロジェクト」については、ぜひ民間からの参加者が増えるようにして欲しい。</p>
事務局	<p>市内の織布工場でも新たに受入れを行うこととなるなど、積極的に事業に参加していただいている。今後も民間事業者に呼びかけを行っていきたい。</p>

委員	<p>避難施設が不足しているのではないかと感じる。災害発生時に身動きが取れなくなる災害弱者（高齢者、障がい者、子どもなど）のための避難施設の充実が、今後の大きな課題ではないかと感じる。</p>
事務局	<p>市としても重要な課題であると感じている。今回の会場であるみらいえも、避難施設としての機能を有している。各地区においても避難施設の確保を目指したい。</p> <p>また、来年度から消防署の増改築や出張所の整備などを行い、災害に強いまちづくりを目指していく。</p>
委員	<p>来年度の予算案について、市債がかなり増えているが、返済の目途はあるのか。</p>
事務局	<p>市債は増えているが、市の負担はあまり変わらない。国の合併特例債などで補てんされることとなっている。</p>
委員	<p>市職員数が減っていく中で、各地区が担う仕事が増えるのではないかと心配している。</p>
事務局	<p>「参画と協働」を推進する上で、「市民ができることは市民が行う」ということは大変重要である。御理解いただきたい。それに加えて、職員の生産性を上げていかなければならないと考えている。</p>
事務局	<p>（その他、次回日程等について事務連絡）</p> <p>（閉会）</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>